

令和元年度 学校生活相談センターの相談状況について

資料 3

心の支援課

◆件数・回数 of 同期比較◆

相談件数	平成30年度 768件	→	令和元年度 828件	(60件 増)
延べ回数	1326回	→	1614回	(288回 増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	312	37.7%	497	30.8%
	夜間・休日	394	47.6%	879	54.5%
文書 (メール・FAX・手紙)	116	14.0%	228	14.1%	
来所	6	0.7%	10	0.6%	
計	828	100.0%	1,614	100.0%	

・前年度と比較すると、相談件数が828件(7.8%増)、延べ回数が1614回(21.7%増)となり、特に延べ回数で増加した。
 ・夜間・休日受付の相談件数が879回となり、前年度(593回)に比べ48.2%増加した。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
他機関と連携した案件	98	11.8%	146	9.0%
傾聴を主とした案件	730	88.2%	1,468	91.0%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

主な連携先

小中学校	…	42件	私学振興課	…	5件
県立高校	…	34件	警察	…	2件
県教育委員会他課	…	19件			
教育事務所	…	4件			
市町村教育委員会	…	6件			

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	77	9.3%	111	6.9%
5月	89	10.7%	144	8.9%
6月	74	8.9%	148	9.2%
7月	70	8.5%	141	8.7%
8月	61	7.4%	130	8.1%
9月	84	10.1%	142	8.8%
10月	92	11.1%	175	10.8%
11月	59	7.1%	146	9.1%
12月	59	7.1%	120	7.4%
1月	55	6.6%	142	8.8%
2月	61	7.4%	120	7.4%
3月	47	5.7%	95	5.9%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	107	12.9%	137	8.5%
	不登校・登校渋り	84	10.1%	138	8.6%
	その他	178	21.6%	349	21.6%
学校・教師に関すること	247	29.8%	424	26.3%	
家庭・私生活に関すること	81	9.8%	230	14.3%	
意見・問い合わせ	101	12.2%	131	8.1%	
その他	30	3.6%	205	12.6%	
計	828	100.0%	1614	100.0%	

(2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	29	10.9%	41	7.6%
	不登校・登校渋り	14	5.3%	26	4.8%
	その他	107	40.2%	234	43.3%
学校・教師に関すること	54	20.3%	122	22.6%	
家庭・私生活に関すること	22	8.3%	29	5.3%	
意見・問い合わせ	19	7.1%	25	4.6%	
その他	21	7.9%	64	11.8%	
計	266	100.0%	541	100.0%	

(3) 主訴(大人のみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	78	14.4%	96	9.1%
	不登校・登校渋り	70	12.9%	112	10.7%
	その他	69	12.7%	113	10.8%
学校・教師に関すること	188	34.6%	295	28.1%	
家庭・私生活に関すること	59	10.9%	201	19.1%	
意見・問い合わせ	71	13.1%	94	8.9%	
その他	8	1.5%	140	13.3%	
計	543	100.0%	1,051	100.0%	

(4) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	266	32.1%	541	33.5%
本人	263	31.8%	538	33.3%
本人以外の子ども	3	0.3%	3	0.2%
大人	543	65.6%	1,051	65.1%
父	80	9.7%	104	6.4%
母	373	45.0%	674	41.8%
祖父	4	0.5%	5	0.3%
祖母	17	2.1%	33	2.0%
その他の大人	69	8.3%	235	14.6%
不明	19	2.3%	22	1.4%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

・子どもからの相談も大人からの相談も前年度延べ回数(大人868回、子ども541回)に比べ、ともに約21%増加している。

・子どもからの相談の主訴では、子どもに関することのうち「その他」が最も多く(43.3%)、具体的には自身の対人関係について「友だちとうまく関われない」「学校になじめない」等悩みが多くみられた。

・相談者の内訳を見ると、相談者の65.1%は大人で、そのうち41.8%が母親であった。母親から子育ての悩みが多く寄せられ、「子どもにどのように対応すればよいか」など関わり方に苦慮する相談が目立った。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	338	40.8%	735	45.5%
女	382	46.1%	717	44.4%
不明	108	13.1%	162	10.1%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	6	0.7%	6	0.4%
小学生(低学年)	89	10.8%	118	7.3%
小学生(高学年)	112	13.5%	166	10.3%
中学生	213	25.7%	355	22.0%
高校生	318	38.4%	669	41.5%
その他	38	4.6%	104	6.4%
不明	52	6.3%	196	12.1%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	183	22.1%	478	29.6%
東信	77	9.3%	210	13.0%
中信	90	10.9%	159	9.9%
南信	89	10.7%	220	13.6%
その他	8	1.0%	9	0.6%
不明	381	46.0%	538	33.3%
計	828	100.0%	1,614	100.0%

- ・相談対象者の学校区分が上がるにつれ、相談が継続する傾向が窺える。
- ・高校生に関する相談の延べ回数が前年度(507回)に比べ31.9%増加した。

令和元年度のまとめ

- ・前年度と比較すると相談件数、延べ回数ともに前年度を上回った。相談件数は60回増加、延べ回数は288回増加した。
- ・延べ回数が3桁を記録する月が、11か月(前年度9か月、前々年度2か月)あった。
- ・3月は新型コロナウイルス感染症対策による学校の休校等に今までとは大きく異なる状況があり、休校に伴い子どもが不安定になってきている相談や行事等に関わり見通しが持てないことに関する不安などの相談も寄せられた。